

中国語の会話と文字

※繁体字はエリアによって微妙に異なる。※普通話＝標準語・マンダリン、広東話＝広東語



主たるエリア		文字	口語	補足
1	中国大陸	2以外の地域	普通話	中国語には多くの方言があり、その分類も諸説あるが、大きくは7つ程度に分けられる。例えば、北京語・広東語・上海語などでは、発音・語彙ともに異なるため、口語では相互にほぼ理解できない。
2		広東省中央部、広西チワン族自治区東南部	広東話	
3	台湾	繁体字	普通話	公用語は中国語（国語）だが、実態としては台湾語・客家語も用いられる。
4	香港・マカオ	繁体字	広東話	[香港]公用語は中文（実態は広東語）・英語 [マカオ]公用語はポルトガル語と中文（実態は広東語）
5	シンガポール	簡体字 （繁体字も使用）	普通話	公用語は英語、マレー語、中国語（中文）、タミル語だが、シングリッシュ、シンダリンなど独特の文法・話法が用いられている。
6	マレーシア	簡体字 （繁体字も使用）	普通話	公用語はマレー語だが、インド系・中華系が多いため、英語・中国語が一般的に通じる。

- 中国における簡体字は、1956年に共産党政府が、字画が少なく読みや構成にも統一性を高めたものとして導入したもので歴史は浅い。
- 一般的に、中国語では、文字のある言語を「文」といい（例：中国語→中文、日本語→日文、ドイツ語→徳文）、明確に定めた文字のない言語、方言あるいは口語・会話のことを指すときには「話」という（例：客家話、上海話）。「語」は前述の両方に使われる（例：日本語→日語）。
- 中国においては、漢民族が使用する口語・文語を総称して「中文または漢語」といい、一般に「中国語＝漢語＝標準語・簡体字」を指すことが多いが、漢語にも多くの方言があり、普通話以外の口語は相互に通じない場合が多い。広東語圏では普通話を話せない人も多く、普通語圏の人の多くは広東語を話せない。
- 日本では、標準語としての普通話を「北京語」と表現する人もいるが、実際の北京語は方言であり標準語とは異なる。（日本の標準語と江戸弁の関係に近い）